

安全保障政策のリアリティ・チェック

平成29年3月



公益財団法人日本国際問題研究所
The Japan Institute of International Affairs

はしがき

北朝鮮の核ミサイル開発の急速な進展、中国の海洋進出と現状変更、中東の混乱と国際テロの拡散、平時でも有事でもないグレーゾーン事態の拡大など、日本を取り巻く安全保障環境が厳しさを増しています。このため、2015年に日本政府は、あらゆる事態に切れ目なく対応するために、平和安全保障法制の整備と日米防衛協力のための指針（ガイドライン）の改定を行いました。こうした進展は、従来の安全保障政策の展開を踏まえれば、画期的なものであります。同時に、いっそうの手当を必要とする課題が残っていることも否めません。そもそも、日本の安全保障法制は、自衛隊ができることをリスト化する「ポジティブリスト」からなっており、法制の内容は大変複雑なものとなり、あらゆる事態に本当に切れ目なく対応できるのか「リアリティ・チェック」を常に行う必要があります。

本報告書は、気鋭の安全保障専門家が、日本ではまだなじみの薄い政策シミュレーションという手法も用いながら、平和安全保障法制と日米ガイドラインの評価を行い、日本の安全保障法制のリアリティ・チェックを行った結果です。本報告書が指摘する課題は、拡大抑止から、グレーゾーン事態への対処、事態認定、国連平和維持活動、台湾有事や南シナ海有事への対処と多岐にわたっています。本報告書が、新しい日本の安全保障法制に関する理解の促進とさらなる政策議論の活性化につながれば幸いです。

平成 29 年 3 月

公益財団法人 日本国際問題研究所理事長

野上 義二

「安全保障政策のリアリティ・チェック：
新安保法制・ガイドラインと朝鮮半島・中東情勢」研究プロジェクト
安全保障政策研究会

主 査 神谷 万丈 防衛大学校教授／日本国際問題研究所客員研究員

委 員 佐橋 亮 神奈川大学准教授
 神保 謙 慶應義塾大学准教授
 高橋 杉雄 防衛研究所特別研究官
 村上 友章 三重大学特任准教授
 森 聡 法政大学教授

委員兼幹事 山上 信吾 日本国際問題研究所所長代行
 相 航一 日本国際問題研究所研究調整部長
 小谷 哲男 日本国際問題研究所主任研究員

(敬称略)

目次

序章	日本の新たな安全保障政策の「リアリティ」	神谷 万丈… 1
第1章	平和安全法制における法的事態とその認定について	森 聡… 17
第2章	北朝鮮核問題と拡大抑止	高橋 杉雄… 25
第3章	シームレスな安全保障体制への課題 「グレーゾーン」事態からのエスカレーションを巡って	神保 謙… 31
第4章	台湾海峡危機シナリオ	佐橋 亮… 39
第5章	南シナ海危機と重要影響事態： 切れ目としての船舶検査とアセット防護	小谷 哲男… 47
第6章	安保法制とPKO —カンボジアPKOの事例研究—	村上 友章… 57